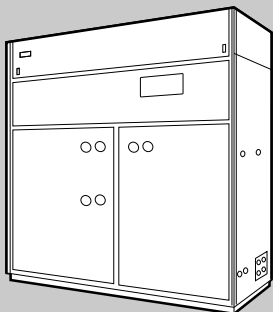


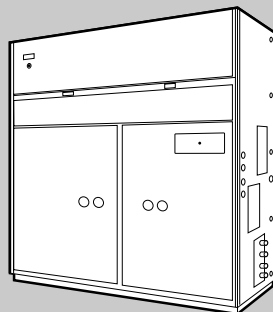
# 三菱重工 パッケージエアコン

## 取扱説明書

**DCP265A**



**DCP400A  
DCP530A  
DCP400AC  
DCP530AC**



このたびは三菱重工パッケージエアコンをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。




お読みになったあとは保証書とともに大切に保管してください。万一、ご使用中にわからないことや異常が生じたとききつとお役にたちます。

なお、この説明書は標準仕様として記載してあります。お客様のご希望などにより仕様を変更して使用される場合は試運転引き渡し時に販売店より説明がありますので、その説明に従ってください。

安全上のご注意..... 1	保安器作動表示灯が点灯したとき.....19
各部の名称..... 5	据え付け・移設・点検整備について.....20
操作部の名称とはたらき..... 7	保証とアフターサービスについて.....21
運転のしかた.....10	仕 様.....23
チェーンジョイント運転のしかた.....12	高圧ガス保安法に関する事項.....24
お手入れのしかた.....16	電気ヒータの取り付けに際して.....25

## 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠ 警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 本文中に使われる“図記号”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。		必ず指示に従い、行ってください。		必ずアース線工事を行ってください。
--	---------------	---	------------------	---	-------------------

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

### ■据え付け上の注意事項

#### ⚠ 警告

据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

電気ヒータなどの別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。また、取り付けは専門業者に依頼してください。



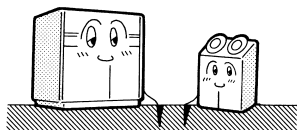
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。



ご自分で取り付けをされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

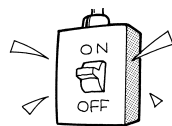
## ⚠ 注意

アース工事を行ってください。



アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。



漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。



万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



強風の影響を受けやすい地域では、転倒防止工事を行ってください。

室外ユニットの転倒につながり、ケガの原因になることがあります。

エアコンの重量に十分に耐えられる場所に確実に設置してください。

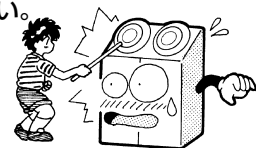


据え付けに不備があるとユニットの転倒・落下につながり、ケガの原因になることがあります。

## ■使用上の注意事項

## ⚠ 警告

空気の吹出口や吸入口に指や棒などを入れないでください。



内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になります。

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切り、お買い上げの販売店にご相談ください。



異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。

洪水、台風など天災でエアコンが水没したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



運転すると故障や感電、火災などの原因になります。

⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しないでください。



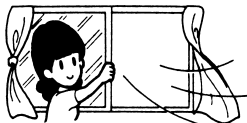
食品の品質低下などの原因になることがあります。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。



感電の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。



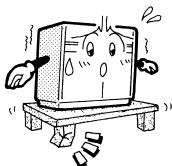
換気が不十分な場合は、酸欠事故の原因になることがあります。

エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないでください。



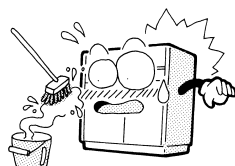
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

長期使用で据付台などが傷んでいないか注意してください。



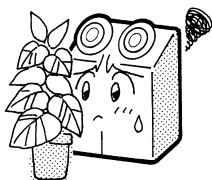
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりケガの原因になることがあります。

エアコンを水洗いしないでください。



感電の原因になることがあります。

動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。



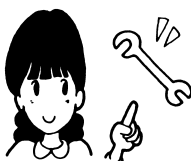
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

掃除をする時は必ず運転を停止して、電源スイッチを切ってください。



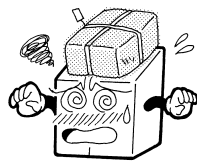
内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。



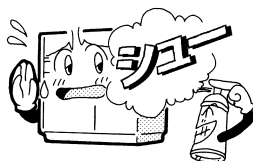
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

エアコンの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。



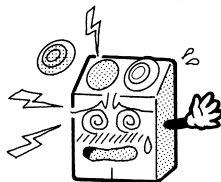
落下や転倒などによりケガの原因になることがあります。

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたりエアコンに直接吹きかけないでください。



発火の原因になることがあります。

吹出グリルを外して使用しないでください。



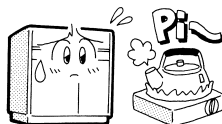
ケガの原因になることがあります。

電源スイッチによるエアコンの運転や停止をしないでください。



火災や水漏れの原因になることがあります。

室内ユニットの近くで湯沸器等の器具を使用しないでください。



蒸気が発生する器具を近くで使用しますと、冷房運転時水滴が落ちたり、漏電・短絡の原因になることがあります。

## ■ 移設・修理時の注意事項

### ⚠ 警告

改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れると、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。

エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

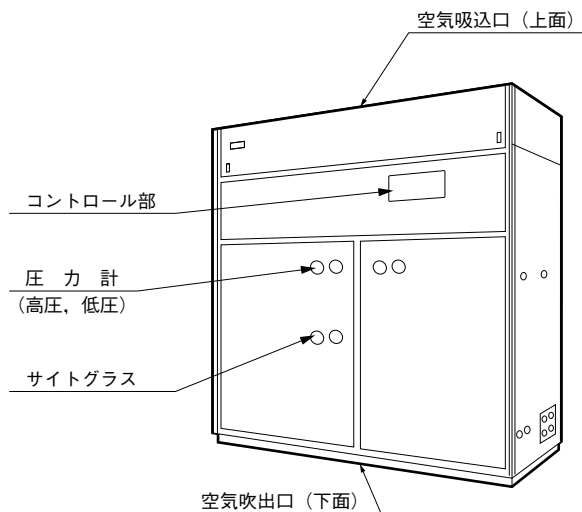


据え付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

# 各部の名称

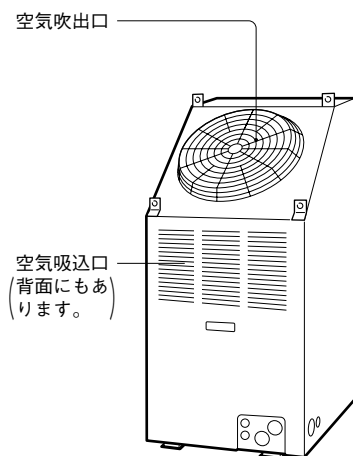
## 室内ユニット

DCP265A



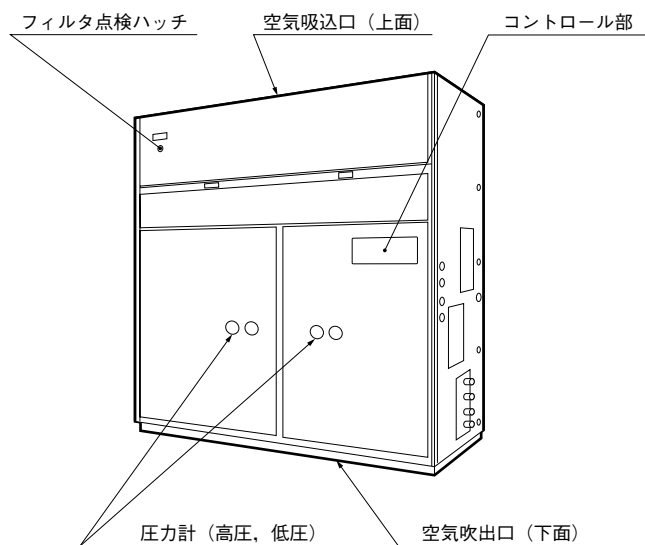
## 室外ユニット

AUCP150DA × 2 台……DCP265Aの対応室外ユニット



## 室内ユニット

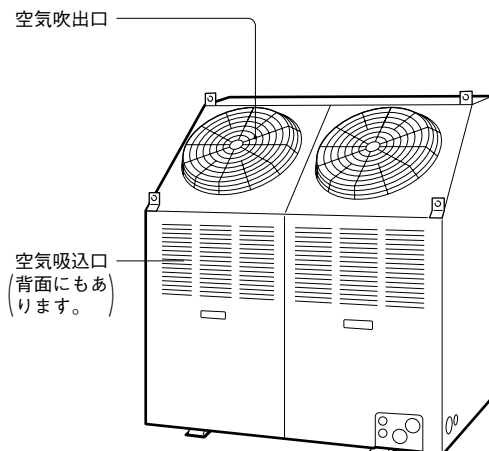
DCP400A, 400AC, 530A, 530AC



## 室外ユニット

**AUCP212DA** × 2 台……DCP400A, 400ACの対応室外ユニット

**AUCP300DA** × 2 台……DCP530A, 530ACの対応室外ユニット



## 操作部の名称とはたらき

**DCP265 A, 400 A, 530 A**

## DCP400 A C, 530 A C



### ①運転スイッチ（安全蓋付）〔AIRCON ON／OFF〕

マニュアルモードで押すとエアコンの運転（ON）となり、内蔵の運転表示灯（黄緑）が点灯します。

送風運転となったあと、タイマーにより順次圧縮機が運転します。もう一度押すと停止（OFF）となり、運転表示灯は消灯します。

ただし、室内送風機は90秒間残留運転を行います。

### ②温度設定つまみ

温度の設定値を変えるつまみです。つまみを希望する数値に回してください。

標準設定温度は16℃～19℃です。

### ③再熱表示灯

再熱運転となったとき、赤色のランプが点灯します。

### ④偏差指示計

設定温度と温度センサー部検出温度の差（偏差）を指示します。

### ⑤電源表示灯（黄）〔POWER〕

電源を投入すると点灯します。

### ⑥室内送風機表示灯〔FAN〕

室内送風機の運転状態を表示します。

運転：点灯（黄緑）

停止：消灯

異常：点灯（赤）過電流継電器作動時

### ⑦圧縮機表示灯〔COMP No.1, No.2〕

- No 1, No 2 圧縮機の運転状態を表示します。

運転：点灯（黄緑）

停止：消灯

異常：点灯（赤）保護装置作動時

2 台の圧縮機の運転時間を平均化する回路をもっていますので No 1, No 2 の間で自動的に運転順序が入れ替わります。

- 圧縮機の容量制御運転状態を表示します。（11ページ参照）

LEAD：先発の圧縮機がアンロード運転時点灯（赤）します。

LAG：後発の圧縮機がアンロード運転時点灯（赤）します。

上記LEAD, LAGとも点灯しない場合はフルロード運転状態です。

- 圧縮機の台数制御運転（10ページ参照）

### ⑧加湿器表示灯〔HUMID〕

加湿器の運転状態を表示します。

運転：点灯（黄緑）	} 湿度調節器の作動にも連動します。
停止：消灯	
異常：点灯（赤）	

## ⑨保安器作動表示灯

圧縮機の保護装置や保安器が作動した場合に点灯（橙）します。

51C：圧縮機用過電流継電器

49C：圧縮機用インターナルサーモスタット

63H：高圧圧力開閉器

63L：低圧圧力開閉器

51Fo：室外送風機過電流継電器

DRAIN：漏水（空調機内部）

FILTER：エアフィルタの詰り

HIGH LIMIT：上限アラーム（オプションの検出器を取り付けた場合）

LOW LIMIT：下限アラーム（オプションの検出器を取り付けた場合）

## ⑩ブザー

エアフィルタの詰り、上・下限アラーム以外の保安器が作動すると警告音を鳴らします。

## ⑪ブザー停止ボタン〔BUZZER OFF〕

鳴っているブザーを、このボタンを押すことで停止させることができます。

## ⑫時間計〔HOUR METER〕

送風機の運転時間を表示しますので、点検整備の目安としてください。

## ⑬運転モード設定スイッチ〔OPERAT MODE〕

- CHAIN JOINT ON／OFFスイッチ

本機外より発停操作を受ける場合〔ON〕にします。

本機のみを手元で操作する場合〔OFF〕にします。

注(1) 2台以上連成してチェーンジョイントを形成した場合〔ON〕にします。

12ページをご覧ください。

- REMOTE／MANUALスイッチ

遠隔操作で運転、停止する場合〔REMOTE〕にします。このとき運転表示灯も連動して点灯、消灯をします。

手元操作で運転、停止する場合〔MANUAL〕にします。

### お 願 い

(1)REMOTEモードではCHAIN JOINTを〔ON〕にしてください。〔OFF〕ですと遠隔発停操作ができません。

(2)あと押し優先回路となっておりますから、遠隔発停信号がON／OFF仕様の場合、手元操作で運転しこのまま遠隔操作に移行したとき、遠隔発停信号もON状態にある必要があります。OFF状態ですと停止します。また、逆に停止していて移行する場合はOFF状態にある必要があります。ON状態ですと運転を始めます。

- NORMAL／TESTスイッチ

通常は〔NORMAL〕にしてご使用ください。点検整備などを行うとき、温度制御回路の働きで圧縮機が1台運転となっている場合に〔TEST〕にすると強制的に2台の圧縮機を運転します。

点検整備後は必ず〔NORMAL〕に戻してください。

## ⑭漏水警報解除ボタン〔DRN AL OFF〕

漏水表示灯が点灯したとき、本機ドレンパン内の水を取り除き解除ボタンを押すことにより漏水表示灯は消灯します。

# 運転のしかた

## お願い

シーズンの初めや長時間停止後に運転するときは、エアコンを保護するため運転開始の12時間前に電源スイッチ入（ON）にしてクランクケースヒータに通電しておいてください。また、シーズン中は電源スイッチを切らないでください。

## 運転モードの選択

2台以上連成してチェーンジョイントを形成する場合，“チェーンジョイント運転のしかた”12ページをご覧ください。

(1)本機のコントロールパネルで手元操作する場合

①CHAIN JOINT ON/OFFスイッチを〔OFF〕側へ倒してください。

②REMOTE/MANUALスイッチを〔MANUAL〕側へ倒してください。

(2)本機を遠方で操作する場合

①CHAIN JOINT ON/OFFスイッチを〔ON〕側へ倒してください。

注(1) 2台以上連成してCHAIN JOINTを形成する場合〔ON〕にします。12ページをご覧ください。

②REMOTE/MANUALスイッチを〔REMOTE〕側に倒してください。

(3)NORMAL/TESTスイッチ

〔NORMAL〕にあることを確認してください。

(4)〔温度設定つまみ〕を回して、ご希望の温度にセットしてください。

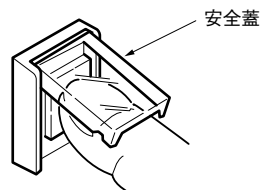
## 運転のしかた

(1)本機のコントロールパネルで手元操作をする場合。

①安全蓋を開けて「運転スイッチ」を軽く押してください。内蔵の運転表示灯が点灯し同時に送風機が直ちに起動します。

②2秒後先発の圧縮機が、さらに2秒ずつの間隔を置いて後発の圧縮機と加湿器が順次起動します。起動と同時に室外送風機も起動します。

③停止は安全蓋を開けて「運転スイッチ」を軽く押してください。運転表示灯は消灯し、圧縮機と加湿器は直ちに停止します。室内送風機は90秒の残留運転を行い、この間加湿器の給水電磁弁を開き、加湿器の余熱を除去します。



(2)本機を遠方で操作する場合

①**始動信号があると**運転表示灯が点灯し送風機が起動，以降前途と同じ経過をたどります。

②**停止信号があると**運転表示灯が消灯し以降前途と同じ経過をたどり停止します。

注(1) 2台以上連成してCHAIN JOINTを形成する場合については12ページをご覧ください。

## 台数制御運転（DCP265A, DCP400A, 530Aのみ）

サーモコントローラの働きで、搭載している2台の圧縮機は、負荷に応じて下記に示すような効率のよい入（ON）／切（OFF）運転制御がされます。

運転内容	2台運転	1台運転
	〔No.1圧縮機:ON+No.2圧縮機:ONの時〕	〔No.1圧縮機:ON/No.2圧縮機:OFFの時 (または) No.1圧縮機:OFF/No.2圧縮機:ONの時〕
台数比率(%)	100	50

## 容量制御運転 (DCP400AC, 530ACのみ)

サーモコントローラの働きで搭載している2台の圧縮機は負荷に応じて、次に示すような運転に逐次制御されます。このきめ細かい制御により大きな省エネルギーを計ることができます。

運転の様子	2F	1F + 1AL	2AL	1F	1AL
容量比率(%)	100	88	75	50	38

符号説明 2 : 2台運転 1 : 1台運転 F : フルロード AL : 25%アンロード

### HIGH/LOW LIMIT信号と運転の関係

HIGH LIMITおよびLOW LIMIT入力端子へヒューミディスタットを各々接続していただきますと、その信号を受けて次に示すように圧縮機の運転が変わります。

#### (1)HIGH LIMIT信号を受けた場合

アンロード状態にある圧縮機はフルロード状態になる。



#### (2)LOW LIMIT信号を受けた場合

フルロード状態にある圧縮機はアンロード状態になる。



これにより、お客様の求める温度限界内へすみやかに納めるように本機の顕熱比を大きく変化させることが可能になります。

## お知らせ

- 一度運転を停止し再び運転するときは必ず3分間以上お待ちください。直ちに運転しますと過大な電流が流れ、安全装置が作動して保安器作動表示灯が点灯することがあります。
- 運転中に停止した場合、復電後は自動的に再始動します。複数台設置の場合は、順次始動させる必要があります。(販売店にご相談ください)
  - ・手元操作では……運転スイッチを押す } の操作をしていったん「停止」にしたあとに
  - ・遠隔操作では……停止信号を入れる } 再始動してください。
- 電源投入時および運転表示点灯時チカッと一瞬赤く発光します。これは回路切り替えに伴うもので正常です。
- 始動では、時間経過とサーモコントローラの出力電圧により圧縮機が2台運転したり、1台運転したりというように様子が異なることがあります。

### 警告ブザーがなったとき

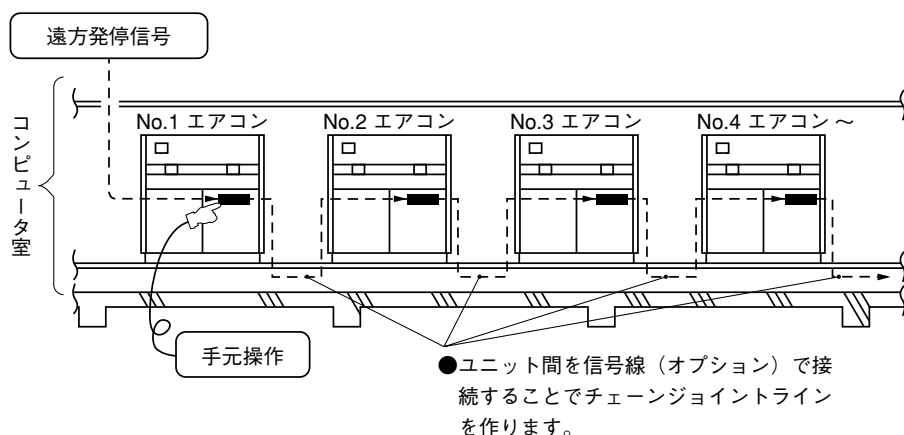
- 次の機器の保安器が作動したとき、保安器作動表示灯が点灯するとともにブザーが鳴ります。
  - 圧縮機
  - 室内送風機
  - 加湿器
  - 空調機内部の漏水
- ブザー停止ボタンを軽く押しますとブザーは停止します。
- 必ず運転スイッチを押し、電源スイッチを切り、本機を「停止」したあと19ページを参照のうえエアコンを点検して故障を取り除いてから再始動してください。

# チェンジジョイント運転のしかた

多数の電算機室用エアコンを並べた大規模な空調システムでは、各エアコンユニット間で信号線（オプション）で接続しますと、その先頭ユニットのみに発停信号を与えることで、すべてのユニットの発停コントロールができるようになります、いちいち各ユニットに発停操作をしなくても済みますから大変便利になります。

便利さはこの他、エアコンをグループに分けてコンピュータの発熱量に合わせて、運転するユニット数を調節することができ省エネとなることや始動が順次行われ、同時始動することはありませんから、電源に無理をさせることが無いなどがあります。

信号を中継して伝えて行く動きは、下図に示すように丁度、連鎖状になっているのでこれをチェンジジョイントラインと称します。図に示すように発停操作は先頭ユニットのNo.1 エアコンで行います。



## 「OPE MODE」スイッチの働き

- 操作パネルには「OPERAT. MODE」スイッチとして  
CHAIN JOINT ON/OFFスイッチ  
REMOTE/MANUALスイッチ  
NORMAL/TESTスイッチ  
があります。

### (1)CHAIN JOINT ON/OFFスイッチ

ON：本機がチェンジジョイントラインに接続されます。

OFF：本機がチェンジジョイントラインから切り離されます。また前方からの信号は本機をバイパスして後方へ伝えられます。

チェーンジョイント運転操作一覧（スイッチ操作とエアコンの運転状態）

チェーンジョイントラインのエアコン番号				No 1	No 2	No 3
手 元 操 作	通   常	OPERAT. MODE スイッチ	CHAIN JOINT ON/OFFスイッチ	ON	ON	ON
			REMOTE/MANUAL スイッチ	MANUAL	REMOTE	REMOTE
		発 停 操 作		No 1 の運転ス イッチでライ ンをコントロ ール	—————	—————
	No 1 切 りの離 しエ アコン を	OPERAT. MODE スイッチ	CHAIN JOINT ON/OFFスイッチ	② ON→OFF	ON	ON
			REMOTE/MANUAL スイッチ	MANUAL	①REMOTE →MANUAL	REMOTE
		発 停 操 作		No 1 の運転ス イッチで自己 のみコントロ ール	No 2 の運転ス イッチでライ ンをコントロ ール	—————
	No 2 切 りの離 しエ アコン を	OPERAT. MODE スイッチ	CHAIN JOINT ON/OFFスイッチ	ON	① ON→OFF	ON
			REMOTE/MANUAL スイッチ	MANUAL	②REMOTE →MANUAL	REMOTE
		発 停 操 作		切離ユニット 以外のライン をNo 1 の運転 スイッチでコ ントロール	No 2 の運転ス イッチで自己 のみコントロ ール	—————
	遠 方 操 作	通   常	CHAIN JOINT ON/OFFスイッチ	ON	ON	ON
			REMOTE/MANUAL スイッチ	REMOTE	REMOTE	REMOTE
		発 停 操 作（ラインは遠方発停信 号でコントロール）		—————	—————	—————
		No 1 切 りの離 しエ アコン を	CHAIN JOINT ON/OFFスイッチ	① ON→OFF	ON	ON
			REMOTE/MANUAL スイッチ	②REMOTE →MANUAL	REMOTE	REMOTE
		発 停 操 作（切離ユニット以外の ラインは遠方発停信 号でコントロール）		No 1 の運転ス イッチで自己 のみコントロ ール	—————	—————
		No 3 切 りの離 しエ アコン を	CHAIN JOINT ON/OFFスイッチ	ON	ON	① ON→OFF
			REMOTE/MANUAL スイッチ	REMOTE	REMOTE	②REMOTE →MANUAL
		発 停 操 作（切離ユニット以外の ラインは遠方発停信 号でコントロール）		—————	—————	No 3 の運転ス イッチで自己 のみコントロ ール

- 「OPERAT. MODE」スイッチは後押し優先回路となっておりますからラインの手元操作と遠方操作間の移行は、No 1 エアコンのREMOTE／MANUAL選択スイッチの切り替えで行えます。ただし、遠方発停信号がON／OFF信号の場合次のことに留意してください。

#### ①手元操作から遠方操作へ移行する場合

ライン状態と遠方発停信号が同期していること。つまり

ラインが停止しているとき遠方発停信号はOFFになっている。

ラインが運転しているとき遠方発停信号はONになっている。

というように双方が同じ状態になっている必要があります。

#### ②遠方操作から手元操作へ移行する場合

REMOTE／MANUAL選択スイッチの切り替えで「**MANUAL**」側へスイッチを倒すことのみで移行は完了し、あとは運転スイッチを軽く押すことで手元操作ができます。

遠方発停信号が始動パルスと停止パルスの場合は、**REMOTE／MANUAL**選択スイッチの切り替えのみで移行が完了し、その後は移行した側の操作に従います。

#### (2)REMOTE／MANUALスイッチ

REMOTE：ライン前方ユニットからの発停信号に従って本機を発停させることができます。

MANUAL：本機の運転スイッチで発停させることができます。

#### (3)NORMAL／TESTスイッチ

**NORMAL**：通常この位置におきます。

**TEST**：本機内の圧縮機が1台運転であるとき、強制的に2台運転にします。点検時に使いますが、使用後は必ず「**NORMAL**」へ倒してください。

### 運転のしかた

(1)CHAIN JOINT ON／OFFスイッチを「**ON**」側へ倒してください。

#### (2)REMOTE／MANUALスイッチ

- No 1 ユニットの、ラインを手元操作する場合は「**MANUAL**」  
ラインを遠方操作する場合は「**REMOTE**」

へとスイッチを倒してください。

- No 2 ユニット以降はすべて「**REMOTE**」へ倒してください。

#### (3)発停操作

##### • 手元操作の場合

No 1 ユニットの運転スイッチを軽く押してください。ラインは「**運転**」を始め、7～10秒間隔で運転を始め運転表示灯が点灯してゆきます。

運転スイッチをもう1度押しますと「**停止**」となり、同時に運転表示灯が消え、各ユニットは90秒の送風機残留運転をしたあとに止まります。

##### • 遠方操作の場合

遠方発停信号によりラインは前項と同様に発停します。

#### (4)切離操作

故障したユニットがでた場合、ラインから切り離し操作を行ってください。操作順序は一般に故障ユニットのスイッチを

①CHAIN JOINTスイッチを「OFF」

②REMOTE／MANUALスイッチを「MANUAL」

としますが

ラインが手元操作にあつて、故障ユニットがNo 1 ユニットのの場合

①No 2 ユニットのREMOTE／MANUALスイッチを「MANUAL」

②No 1 ユニットのCHAIN JOINT ON／OFFスイッチを「OFF」

とします。

以上の操作で切り離しは完了し、そのユニットは自己の運転スイッチで発停操作ができます。

#### (5)組込操作

切り離したユニットをラインへ組み込むには、まずラインの状態（ラインが運転していれば運転に、停止していれば停止というように）に合わせたあとに次の順序で操作してください。

①CHAIN JOINT ON／OFFスイッチを「ON」

②(4)で切り替えたREMOTE／MANUALスイッチを「REMOTE」

とします。



# お手入れのしかた

エアフィルタおよびドレンパンにホコリ・ゴミなどが付きますと空気の流れが悪くなり能力が低下したり排水管が詰まって水が漏れることがあります。

**△注意** 掃除をする時は必ず運転を停止して、電源スイッチを切ってください。

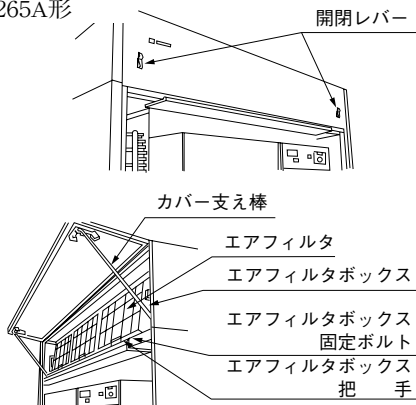
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になることがあります。

## エアフィルタの掃除

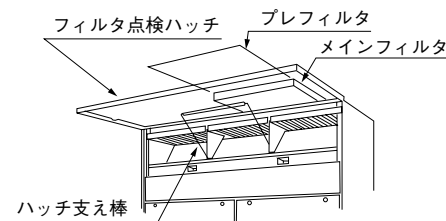
シーズン中は2週間に1回程度掃除してください。

### 外しかた

#### ・P265A形



#### ・P400A, 400AC, 530A, 530AC形



- ①上部前面カバーの両側に取り付けられている「開閉レバー」の上部を押してから、そのカバーを上方へ開けてください。開けたあとは「カバー支え棒」で固定してください。
- ②エアフィルタボックスを固定している2個の固定ボルトを外してください。
- ③エアフィルタボックスの把手を持ち手前に引けば外れます。
- ④エアフィルタを外すには、エアフィルタボックスの内側、金網を手で締め取り外すことによりできます。

- ①フィルタ点検ハッチを、手前に引きながら上方へ開けてください。開けたあとは「ハッチ支え棒」で固定してください。
- ②プレフィルタを手前に引き出し抜き取ってください。メインフィルタを交換するときは、さらにメインフィルタを引き抜いてください。

### 掃除のしかた

電気掃除機をご使用になると簡単にホコリが落とせます。

汚れがひどい場合は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（30℃位）でゆすぎ洗いし、水洗いしたあとよく乾かしてください。

#### お願い

- 熱湯で洗わないでください。
- 火であぶって乾かさないうでください。
- 強く引っ張らないでください。フィルタが損傷します。

### 掃除が終わったら

#### お願い

エアフィルタを外したままで運転しますと機械にホコリが詰り故障のもとになります。必ずエアフィルタを取り付けて運転してください。

## ユニット各部のお手入れ

- 柔らかい布で掃除してください。
- 特に汚れがひどいときはぬるま湯に溶かした中性洗剤でふき取ってください。あとは中性洗剤をよくふき取っておいてください。

### シ ー ズ ン 後 に は

- 電源スイッチを必ず切ってください。
- エアフィルタを掃除して取り付けておいてください
- 室内ユニット、室外ユニットともに掃除して汚れを落してください。

### シ ー ズ ン 前 に は

- 室外ユニットの吸込口、吹出口のまわりに風の障害になるものがないか確認してください。
- エアフィルタが汚れていないか確認してください。
- 運転つまみが「停止」にされていることを確認し運転開始12時間前に電源スイッチを入れてください。

〔本機には停止中、冷媒が圧縮機内の油中に溶解込むのを防ぐため圧縮機にクランクケースヒータが取り付けられています。〕

## 加湿器水槽内のスケールの清掃

長くご使用になっていますと加湿器水槽内にスケールが付着してきます。使用状況により異なりますが、3ヶ月毎を目安にスケールを除去してください。この際スケールはドレン配管に詰まらないように機体外へ取り出して捨ててください。

## 定期点検一覧表

定期的に点検を行ってください。点検を行うときは、必ず運転つまみを「停止」にし、さらに電源スイッチを切ってください。

点 検 項 目	2 週 間 ご と	1 ヶ 月 ご と	1 年 ご と	備 考
<ul style="list-style-type: none"> <li>● エアフィルタの清掃</li> <li>● ドレンパンの清掃</li> <li>● 前面カバーと外板の手入れ</li> </ul>	○ ○ ○			16ページ参照 16ページ参照 17ページ参照
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 室外ユニットのコイルの清掃</li> <li>● 本機内部からの異常音 (室内ユニット・室外ユニット)</li> <li>● サーモによる圧縮機の発停頻度 (運転10分以上、停止5分以上なら正常です)</li> <li>● ファンベルトの張り</li> <li>● アース線の外れ</li> <li>● 電線皮覆の損傷および端子のゆるみ・外れ</li> </ul>		○ ○  ○ ○ ○		異常があると思われるときは販売店にご相談ください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷媒配管のガス漏れ</li> <li>● 安全装置の点検</li> <li>● 電気回路の点検</li> <li>● ドレン配管の清掃</li> <li>● 能力の確認</li> </ul>			○ ○ ○ ○ ○	販売店に点検を申し出てください。

## 日常の心得

点検表示灯、操作つまみなどが割れたり破損していましたら販売店もしくはサービス業者にお申し出ください。

# 保安器作動表示灯が点灯したとき

■運転中に本機が異常になった場合は、安全装置が働いて保安器作動表示灯が点灯するとともに、ブザーが鳴ります。

- 圧縮機

その系統の圧縮機は停止し、圧縮機表示灯が赤になるとともに、作動した保安器作動表示灯が点灯します。

- 室内送風機

本機は停止し、室内送風機表示灯が赤に変わります。

- 加湿器

加湿器は停止し、加湿器表示灯が赤に変わります。

- 空調機内部の漏水

保安器作動表示灯（DRAIN）が点灯します。本機は停止しません。

■保安器作動表示灯が点灯したときは、運転スイッチを押す等空調機を「停止」にし電源を切ってから次の箇所を点検してください。

- (1)エアフィルタが汚れて風の流が悪くありませんか。
- (2)送風機が逆転している。または送風機用ベルトが緩い。
- (3)フィンガードのまわりの空気吸込口がふさがれて風の流が悪くありませんか。
- (4)フィンガードの上部がふさがれて風の吹き出しが悪くありませんか。

上記に対する処置を行っても正常に戻らない場合は、みだりに手を触れずお買い上げになりました販売店へご連絡ください。

# 据え付け・移設・点検整備について

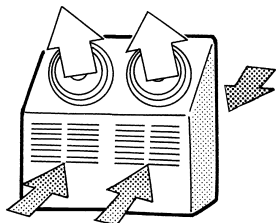
いつまでも安全・快適にご愛用いただくために、次のことにご注意ください。

据付工事は販売店に依頼しお客様ご自身ではなさないでください。

## 室外ユニット

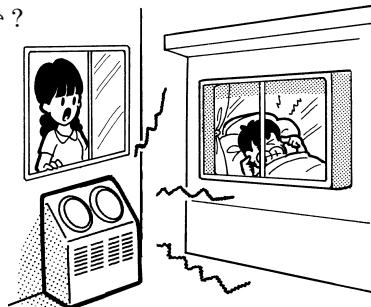
### 据 付 場 所

風通しの良い場所に据え付けられていますか？



障害物があると能力低下や運転音増大のものとになります。

温風や運転音が近隣の迷惑になっていませんか？



### 降雪・積雪地域でのご使用について

室外ユニットの据付場所は次のような処置をしてください。

- 降雪により室外ユニットの空気吸込口をふさいだり、雪が入り込んで内部で凍結しないよう「防雪フード」を設けてください。
- 多雪地域では、積雪により空気吸込口をふさぐことがありますので、その地域の積雪量に応じて基礎を高くするか、予想される積雪量より50cm以上の高さの「架台」に室外ユニットを据付ける必要があります。



## 電 気 工 事

### ⚠注意 アース工事を行ってください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。  
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

### ⚠注意 設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。

漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

電気工事・アース工事資格のある人が、電気設備技術基準にしたがって工事をしてください。

■エアコン専用の配線になっていますか？

## 転 居 や 移 設 の と き

### ⚠警告 エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

据え付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

なお、取り外しや再据え付けには工事費がかかります。

## 点 検 整 備 に つ い て

本機はつねに最良の状態でご使用ください。そのためには通常のお手入れとは別に点検整備が必要です。お買い上げの販売店とご相談のうえ保守契約（有料）をされるようお勧めします。

# 保証とアフターサービスについて

## 保証について（保証期間は、納入日から起算して1年間です。）

この製品には保証書が付いています。

- 保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

- 保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの販売店または指定のサービス店にご連絡ください。

保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。（保証期間経過後の修理は有償になります。）

保証期間中でも有償になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客様の行う日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。

標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。

なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■機器予防保全の目安

保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。  
下記は、以下のご使用条件の場合です。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
  - ②製品の運転時間は、10時間/日、2,500時間/年と仮定しています。
- また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- ①温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
  - ②電源（電圧、周波数、波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用される場合。
  - ③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
  - ④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

表-1. 「点検周期」及び「保全周期」の一覧表

主 要 部 品 名	点検 周期	保全周期 [交換又は修理]	主 要 部 品 名	点検 周期	保全周期 [交換又は修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバ、ドレンポンプ用など)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年

注(1)本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。  
この保全期間は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの  
目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のために  
お役立てください。

- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、  
保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年です。当社はこの基準により補修用部品を調達したうえ、修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安

交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

表-2. 消耗部品の「交換周期」一覧表

主 要 部 品 名	点検周期	交換周期	主 要 部 品 名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1 年	5 年	ヒューズ	1 年	8 年
高性能フィルター	—	1 年	加湿器エレメント		5 年
ファンベルト	1 年	3 年	クランクケースヒータ		8 年

■アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守・点検を致します。万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買上げの販売店にご相談ください。

# 仕 様

## 室内ユニット

(50/60Hz)

		単 位	DCP265A	DCP400A, AC	DCP530A, AC
冷 房 能 力 <sup>*1</sup>		kW	23.6／26.5	35.5／40.0	47.5／53.0
電 源			3 相 200V 50／60Hz		
運 転 電 流		A	54.8／59.6	73.6／81.0	95.8／112.0
圧縮用電動機		kW	3.75×2	5.5×2	7.5×2
室内送風用電動機			2.2	5.5	7.5
消 費 電 力			15.2／18.6	21.7／26.5	28.2／36.5
風 量		m <sup>3</sup> /min	125／160	220／270	290／350
運 転 音		dB	58／60	62／65	63／66
加 湿 器 容 量		kW	4（パン型）	6（パン型）	
外形寸法	高 さ	mm	1900	1950	
	幅		1800	1850	2000
	奥 行		800		
	分割できる高さ		1618+282	1340+790 <sup>*2</sup>	
製品質量（室内ユニット）		kg	625	700	800
冷 媒 封 入 量			4×2（R407C）	17×2（R407C）	

注(1) ※ 1 の冷房能力は室内入口空気：24℃DB, 17℃WB, 室外入口空気：35℃DB, 24℃WB における値です。

(2) 運転電流, 消費電力は加湿器分も含む冷房時の値です。

(3) ※ 2 は構造的に組み込んでいる為全高と一致しません。また冷媒回路のろう付部取り外しを前提にします。

## 室外ユニット

(50/60Hz)

		単 位	AUCP150DA×2台	AUCP212DA×2台	AUCP300DA×2台
1 台 分 の 値	電 源		单相 200V 50／60Hz	3 相 200V 50／60Hz	
	送風用電動機	kW	0.1	单相 0.1×2	
	運 転 音	dB	53／53	56／56	
	外形寸法	高 さ	mm	1450	
		幅		850	1350
		奥 行		600	
	製 品 質 量	kg	95	145	
	冷媒封入量		14 (R407C)	12 (R407C)	13 (R407C)

注(1) 室外ユニットは1台分を示します。

(2) 冷媒封入量は工場出荷時, 室内・外ユニットに分けて封入済みです。(除く, 接続配管分)



# 高圧ガス保安法に関する事項

下表の製品は、高圧ガス保安法に基づき、冷媒ガスの圧力を受ける部分の材料・構造を遵守し、圧力試験が実施されています。

冷媒ガスの圧力を受ける部分の部品を交換又は修理される場合は資格（冷凍機器製造事業所）のある事業所に依頼されるようお願い致します。

保安上の明細は次の通りです。

機 種		DCP265A	DCP400A, AC	DCP530A, AC
法定冷凍トン 50Hz／60Hz		3.60／4.34	5.38／6.50	7.18／8.66
冷 媒		R407C		
冷 媒 充 填 量 kg		18×2	29×2	30×2
許 容 圧 力	(高圧部) MPa	3.3		
	(低圧部) MPa	1.6		
高圧遮断装置の設定圧力 MPa		3.24		
圧縮機	台 数	2		
	形 名	CB50H	CB80H	CB100H
	許 容 圧 力 MPa	1.6		
凝縮器	台 数	4		
	形 式	プレートフィンコイル式		
	許 容 圧 力 MPa	3.3		
	溶 栓 の 口 径 mm	5.56	6.0	
	溶栓の溶融温度 ℃	75		
その他の容器	品 名	アキュームレータ		
	許 容 圧 力 MPa	1.6		
	溶 栓 の 口 径 mm	――		
	溶栓の溶融温度 ℃	――		
機 器 製 造 事 業 者		三菱重工業株式会社		

- 注(1) 冷媒充填量は工場出荷時、室内・外ユニットに分けて封入済みです。(除く、接続配管分)  
 (2) 据付けの際に現地で冷媒配管を施工した設備は配管施工部分の気密試験を3.3MPaで実施願います。

# 電気ヒータの取り付けに際して

## 電気ヒータについて

〔DCP265Aのみ組込み可能です。〕

⚠警告 電気ヒータを取り付けられる場合は、弊社純正品を必ず使用してください。  
純正品の購入については、本機お買い上げの販売店にご相談ください。

## 取り付けについて

⚠警告 電気ヒータの取り付けは専門の知識・技術を必要としますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。  
誤った取り付けをされますと感電、火災などにつながるおそれがありますので特にご注意ください。

## 消防署長への届け出について

### お願い

本機が下記のいずれかに該当するような場合、電気ヒータの取り付けを計画されるお客様は、あらかじめその旨所轄消防署長に届け出て審査を受けなければならないよう各市町村の火災予防条例で決められています。所轄の消防署にご相談され所定の手続きをしてください。

### ■届け出の必要な場合

1. 風道（ダクト）を使用する場合。
2. 劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場、カフェー、キャバレー、ナイトクラブ、遊技場、ダンスホールなどで使用する場合。
3. 最大消費熱量が69.8kW以上になる場合。

（注）上記「届け出の必要な場合」は、各市町村の火災予防条例により異なる場合がありますので、所轄の消防署にお問い合わせください。

## 電気ヒータについてのお願い

電気ヒータ用ヒューズが働いた場合は、必ずお買い上げの販売店に点検整備をご依頼ください。

電気ヒータ用ヒューズは、万一の異常時に火災等の災害を防止する重要な保護装置です。

## ●お客様メモ●

サービスをお申し付けになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

- ユニットの形式名は？
- ユニットの製造番号は？
- 故障の内容は？———どのような状態で行いましたか。

お客様メモ

ご購入店名

担当者

電話番号

ご購入日

年

月

日



冷熱事業本部 〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地